



4-1. <施策を構成する事業>

	重点	部 門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
			H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(実績)	H26(予算)	H27(試算)
1		生涯学習課	1,565	1,370	1,688	3,608	3,681	3,292
		スポーツ推進委員会運営事業	789	818	826	790	794	794
		一般事業 227	789	818	826	790	794	794
2		生涯学習課	1,214	864	1,272	949	1,052	1,054
		社会体育運営事業	438	390	412	33	99	99
		一般事業 229	438	390	412	33	99	99
3	○	生涯学習課	3,954	2,905	3,656	7,916	8,295	9,173
		生涯スポーツ振興事業	2,380	2,353	2,400	6,239	6,567	6,677
		一般事業 229	2,072	1,955	1,925	6,239	6,567	6,677
4		生涯学習課	1,747	2,422	1,751	2,106	2,711	2,519
		学校開放維持管理事業	971	855	890	809	1,370	1,178
		一般事業 229	971	855	890	809	0	0
5	○	生涯学習課	-	-	-	55,701	51,084	61,281
		むくのきセンター等運営事業	-	-	-	52,503	47,809	58,014
		一般事業 229	-	-	-	52,501	47,797	58,014
6								
7								
8								
9								
10								

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

・むくのきセンター及び体育施設に指定管理者制度を導入した初年度であったが、住民の利用に支障をきたすことなく、各種スポーツ事業等を展開し、スポーツの振興と文化の発展及び向上に寄与することができた。 ・よりよいサービスの提供を実現するため、指定管理者である特定非営利活動法人精華町体育協会との連携をさらに深める必要がある。 ・体育施設に配置する設備及び備品には、経年劣化による修繕や更新を要するものが散見される。 ・特定非営利活動法人精華町体育協会に対する助成金を交付し、大規模なスポーツ振興事業を実施することができた。 ・スポーツ事業等の情報提供を進めたことで施設利用を促進することができた。

5. <施策の今後の方向性>

・老朽化が著しい体育施設については、現状の利用頻度や指定管理者による今後の事業計画等を踏まえ、施設設置者の責務として、計画的な修繕等の対応を検討し、安定的な運営環境の確保に努める。 ・住民ニーズの把握に努め、スポーツ推進委員や関係団体のほか、指定管理者との連携による地域に根差した取り組みの実現を目指す。 ・特定非営利活動法人精華町体育協会等関係団体との連携により、健康増進と身近にスポーツに親しめる環境づくりを進めるとともに、競技スポーツの底上げを図る。 また、こうしたスポーツ事業等についての情報提供を進める。